

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		環境美化推進員活動事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部	課長名	北里 利朗
	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	泉田 聡
	基本事業	21	リサイクルの推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1145
予算科目	会計	一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市環境美化推進員設置要綱	
			4	1	7	10189		成果優先度評価結果	: ③
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	地域のごみステーションの清掃等も兼ねて、市民の分別指導ができるような方の人材育成のため、平成11年度より開始した。環境美化推進員と市が連携し環境美化に取り組む。人口増に伴いごみステーションも増え、環境美化推進員の受け持ち箇所が増加した。2年に1回施設視察研修を行っている。
【業務の流れ】	環境美化推進員への事業の説明会・研修会、地域での啓発活動、報告会、報償費・費用弁償支払事務
【主な予算費目】	報償費、旅費、役員費、
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	区長や環境美化推進員より、環境美化推進員の受け持ち見直しについての要望あり(主に増員の要望)。環境美化推進員より、すべての資源物ごみ袋について記名して欲しいとの要望あり。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
環境美化推進員と連携し、環境美化事業に取り組んだ。環境美化推進員への事務の説明会・報告会、報償費・費用弁償の支払事務を行った。説明会開催回数2回。	環境美化事業に取り組む環境美化推進員への事務の説明会・研修会、地域での啓発活動、ごみ減量啓発説明、報告会、報償費・費用弁償の支払事務を行う。会議開催回数2回。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 会議開催回数	通信運搬費の減及び費用弁償の減
イ: 研修会参加者数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	→ ア: 人口
	→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
ごみの分別に対する意識を高める	→ ア: 地域で活動された回数
	→ イ:
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
環境美化に取り組むうえで、環境美化推進員の活動は重要であるため、成果指標を「地域で活動された回数」とし、目標値は環境美化推進員一人一活動とし環境美化推進員数の「148回」と設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	24年度	25年度	26年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 回	3	2	3	3	2	3	2	3	
	イ 人	305	222	328	83	219	330	220	331	
② 対象指標	ア 人	57,367	58,237	58,900	59,067	59,200	60,100	60,900	61,500	
	イ									
③ 成果指標	ア 回	146	145	148	148	150	151	152	153	
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	4,553	4,280	5,240	4,651	5,114	5,360	4,861
		(A) 事業費計	千円	4,553	4,280	5,240	4,651	5,114	5,360	4,861
		(A)のうち指定経費	千円	3,796	0	0	0	0	3,926	3,952
	(B) 人件費計	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	8	7	7	6	7	7	7
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	491	480	500	473	400	500	400	
	(B) 人件費計	千円	1,998	1,912	1,992	1,884	1,593	1,992	1,593	
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,551	6,192	7,232	6,535	6,707	7,352	6,454	

事務事業名	環境美化推進員活動事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 説明会を2回、研修を1回実施し、環境美化推進員の意識向上を図ることができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 目標達成のため、環境美化推進員一人一人に活動してもらう。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ごみの発生抑制、リサイクルの推進状況がまだ十分とは言えない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 説明会は年2回は必要だと考える。環境美化推進員数を減らせば事業費の削減は可能だが、ごみの分別、発生抑制、リサイクルの推進が出来なくなると共に、環境美化推進員の負担が多くなり、環境美化推進員を受けの方を確保できなくなる恐れがある。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 説明会資料作成・説明会・通知事務等は現在のシステムでは削減できない。環境美化推進員からの依頼で、ごみの分別のや違反ごみの引取りなど現地で排出者に指導することがあるので、正規職員以外では対応できない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 各行政区からの推薦(任期2年)であり公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 一般廃棄物は市町村の事務であり、市がごみ減量及び再生資源と地域の環境美化等を目的に環境美化推進を委嘱して業務を行うのは適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成26年度は、説明会を2回、研修を1回実施した。環境美化推進員への報償費・費用弁償の支払事務を行った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 地区によって美化推進員の活動に温度差があり、推進員各々の意識から変えていく必要がある。		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 環境美化推進員制度が浸透している地区をモデル地区として機能していない地区に対して紹介、指導していく。																							